令和2年壮警町議会第4回臨時会を、次のとおり招集する。

令和2年8月3日

壮警町長 田 鍋 敏 也

記

1 期 日 令和2年8月6日

2 場 所 壮警町役場 大会議室

3 付議事件

- (1) 専決処分の承認を求めることについて
- (2) 専決処分の承認を求めることについて
- (3) 専決処分の承認を求めることについて
- (4) 令和2年度壮警町一般会計補正予算(第8号)について
- (5) 令和2年度壮警町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について
- (6) 令和2年度壮警町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について

○応招議員（9名）

1番 菊地敏法君

3番 佐藤忞君

5番 山本勲君

7番 毛利爾君

9番 長内伸一君

2番 松本勉君

4番 加藤正志君

6番 真鍋盛男君

8番 森太郎君

○不応招議員（0名）

令和2年壮瞥町議会第4回臨時会会議録

○議事日程（第1号）

令和2年8月6日（木曜日） 午前10時00分開会

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第54号ないし議案第59号について

○出席議員（9名）

1番	菊地敏法君	2番	松本勉君
3番	佐藤恣君	4番	加藤正志君
5番	山本勲君	6番	真鍋盛男君
7番	毛利爾君	8番	森太郎君
9番	長内伸一君		

○欠席議員（0名）

○地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した人

町長	田鍋敏也君
副町長	黒崎嘉方君
教育長	谷坂常年君
会計管理者	阿部正一君
税務会計課長	
総務課長（兼）	庵匡君
企画財政課長	上名正樹君
住民福祉課長	齊藤英俊君
産業振興課長	木下薫君
商工観光課長	三松靖志君
建設課長	澤井智明君
生涯学習課長	河野圭君
選管書記長（兼）	庵匡君
農委事務局長	齋藤誠士君
監委事務局長（兼）	小林一也君

○職務のため出席した事務局職員

事務局長（兼）	小林一也君

◎開会の宣告

○議長(長内伸一君) ただいまから令和2年壮瞥町議会第4回臨時会を開会いたします。

◎開議の宣告

○議長(長内伸一君) 直ちに本日の会議を開きます。
(午前10時00分)

◎議事日程の報告

○議長(長内伸一君) 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎会議録署名議員の指名

○議長(長内伸一君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
本日の会議録署名議員は、会議規則第116条の規定により、議長において
7番 毛利 爾君 8番 森 太郎君
を指名いたします。

◎会期の決定について

○議長(長内伸一君) 日程第2、会期の決定についてを議題といたします。
お諮りいたします。今期臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕
○議長(長内伸一君) ご異議なしと認めます。
よって、会期は本日1日間と決しました。

◎議案第54号ないし議案第59号

○議長(長内伸一君) 日程第3、議案第54号ないし議案第59号についてを議題といたします。
理事者から提案理由の説明を求めます。
副町長。
○副町長(黒崎嘉方君) 令和2年第4回臨時会に当たり提出いたします議件は、議案第54号から議案第59号までの合計6件であります。
その内容についてご説明いたします。
議案第54号 専決処分の承認を求めることについて。
地方自治法第179条第1項の規定によって、別紙のとおり専決処分したので、同条第3

項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

専決処分書。

地方自治法第 179 条第 1 項の規定により、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので、次のとおり専決処分する。

令和 2 年度壮瞥町一般会計補正予算（第 5 号）について。

令和 2 年度壮瞥町一般会計補正予算（第 5 号）は、次に定めるところによる。

第 1 条 既定の歳入歳出予算の総額 39 億 5,447 万 9,000 円に歳入歳出それぞれ 421 万 9,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 39 億 5,869 万 8,000 円とする。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

専決処分の日付は、令和 2 年 6 月 15 日となります。

事項別明細書、歳出から説明します。6 ページになります。新型コロナウイルス感染症対策費、新型コロナウイルス感染症対策費、新型コロナウイルス感染症経済対策費で 421 万 9,000 円の追加となります。移住定住環境整備事業になりますが、地域おこし協力隊を募集し、採用を決定したものの、新型コロナウイルス感染症に伴う移動自粛規制などの状況を見極めながら赴任時期をはじめ住環境の確認など移住に係る諸条件の調整をしていたところ、時期を同じくして町内農業法人においても人材の確保が相次ぐなど、まちづくりに寄与する人材や地域産業の振興に寄与する人材の住環境を早急に確保する必要が生じたため、長期間空き家となっていた町有住宅 4 戸を急遽修繕、整備したものであります。

歳入では、繰入金、基金繰入金、財政調整基金繰入金で 421 万 9,000 円の追加となります。

第 1 表、歳入歳出予算補正については、説明した内容の再掲でありますので、説明は省略します。

議案第 55 号 専決処分の承認を求めることについて。

地方自治法第 179 条第 1 項の規定によって、別紙のとおり専決処分したので、同条第 3 項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

専決処分書。

地方自治法第 179 条第 1 項の規定により、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので、次のとおり専決処分する。

令和 2 年度壮瞥町一般会計補正予算（第 6 号）について。

令和 2 年度壮瞥町一般会計補正予算（第 6 号）は、次に定めるところによる。

第 1 条 既定の歳入歳出予算の総額 39 億 5,869 万 8,000 円に歳入歳出それぞれ 150 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 39 億 6,019 万 8,000 円とする。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

専決処分の日付は、令和2年7月7日となります。

事項別明細書、歳出から説明します。12ページになります。衛生費、保健衛生費、温泉管理費で150万円の追加となります。地熱エネルギー維持管理経費のゆーあいの家泉源ポンプ取替え工事になりますが、泉源ポンプが停止し、点検を行ったところ電気系統やポンプ本体のモーターの故障が判明し、修繕を試みたものの、復旧が困難であったため、急遽予備ポンプを用いて取替え工事を実施したものであります。

歳入では、繰入金、基金繰入金、財政調整基金繰入金で150万円の追加となります。

第1表、歳入歳出予算補正については、説明した内容の再掲でありますので、説明は省略します。

議案第56号 専決処分の承認を求めることについて。

地方自治法第179条第1項の規定によって、別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

専決処分書。

地方自治法第179条第1項の規定により、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので、次のとおり専決処分する。

令和2年度壮瞥町一般会計補正予算（第7号）について。

令和2年度壮瞥町一般会計補正予算（第7号）は、次に定めるところによる。

第1条 既定の歳入歳出予算の総額39億6,019万8,000円に歳入歳出それぞれ73万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ39億6,092万8,000円とする。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

専決処分の日付は、令和2年7月16日となります。

事項別明細書、歳出から説明します。18ページになります。農林水産業費、農業費、農地費で73万円の追加となります。農地一般事業になりますが、7月8日の大雨の後、昭和新山南登山口農業用排水路に面する農地所有者から排水路が土砂で閉塞し、農地に土砂が流入しているとの通報があり、現地調査を行ったところ排水路頂部まで土砂で閉塞し、上流側から排水できない状況であったため、今後大雨の際にさらに農地に土砂が流入するおそれがあることから、緊急対応を行ったものであります。

歳入では、繰入金、基金繰入金、財政調整基金繰入金で73万円の追加となります。

第1表、歳入歳出予算補正については、説明した内容の再掲でありますので、説明は省略します。

議案第57号 令和2年度壮瞥町一般会計補正予算（第8号）について。

令和2年度壮瞥町一般会計補正予算（第8号）は、次に定めるところによる。

第1条 既定の歳入歳出予算の総額39億6,092万8,000円に歳入歳出それぞれ1億7,622万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ41億3,715万5,000円とする。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

事項別明細書、歳出から説明します。24ページになります。総務費、総務管理費、テレビ難視対策費で5万5,000円の追加となります。テレビ難視聴対策費になりますが、消防壮警支署に監視モニター5台を設置し、電波状況を監視しておりますが、監視モニターのうち1台が故障し、取替えの必要があることから、備品購入費を計上するものであります。

財産管理費で20万円の追加となります。財産管理事業一般経費になりますが、町民公園管理に使用している乗用草刈り機の集草装置の送風カバーに劣化による亀裂が生じ、業務利用上はもとより安全管理上に支障があるため、修繕するものであります。

民生費、心身障害者福祉費、障害者自立支援費で180万円の追加となります。障害者自立支援医療給付事業になりますが、障害者に係る更生医療で障害を除去、軽減する治療等、その更生のために必要な自立支援医療費を支給するものですが、このたび人工膝関節の手術に伴う入院医療申請が1件あったため、計上するものであります。なお、当該事業に係る負担区分については、国2分の1、道及び市町村でそれぞれ4分の1となっております。

新型コロナウイルス感染症対策費、新型コロナウイルス感染症対策費、新型コロナウイルス感染症衛生対策費で3,608万4,000円の追加となります。感染症防止緊急対策事業になりますが、初めに修繕料及び手数料については仲洞爺野営場に係る予算で、炊事舎の衛生環境改善に係る修繕料80万円を計上するとともに通年休業に伴う立入禁止措置の追加対策に要する手数料70万円を計上するものであります。また、項目が前後しますが、関連して仲洞爺野営場管理棟整備工事になります。今後の営業再開に備えて利用者に対する快適で良質な環境やサービスを提供することを目的に管理棟を整備することとして1,000万円を計上するものであります。自動車損害保険料など自動車購入費に係る予算になります。これも項目が前後しますが、避難広報及び避難所間の連絡調整用車両2台の自動車購入費709万円をはじめ自動車損害保険料16万円、自動車重量税5万円を計上するものであります。旧立香ふれあいセンター屋根ふき替え工事になりますが、国や道の指針に基づいた避難所の分散化に対応するため、工事費750万円を計上するものであります。公共施設トイレ改修工事になりますが、避難所及び避難時利用施設の感染リスク低減対策を図るため、ゆーあいの家、来夢人の家、久保内ふれあいセンター及び農村環境改善センターの4つの公共施設のトイレ17基の改修工事に251万円を計上するものであります。道の駅トイレ改修工事になりますが、感染予防と衛生環境の改善を図るため、道の駅24時間トイレ男女それぞれ1基について和式から洋式に改修する工事費101万2,000円を計上するものであります。壮警小学校トイレ改修工事になりますが、感染予防と衛生環境の改善を図るため、児童用トイレ5基について和式から洋式に改修する工事費195万3,000円を計上するものであります。防災備蓄品購入費になりますが、防災用灯油ストーブ10台の購入費で25万円を計上するものであります。そうべつ保育所備品購入費になりますが、保育所の安全、安心を確保するため、園児の接触機会をより低減するための密着回避ソフトベンチや仕切

りパーティション、調理場設備等の衛生管理を徹底するための抗菌調理器具や抗菌什器、スチームコンベクションオープン等の備品を整備することとして 255 万 9,000 円を計上するものであります。簡易水道事業特別会計繰出金になりますが、橋梁に添架している水道本管の凍結防止ヒーター制御盤を修繕し、避難施設における冬期間の衛生環境の改善等感染予防対策の充実を図るため、150 万円を計上するものであります。

25 ページになります。新型コロナウイルス感染症経済対策費で 1 億 3,276 万円の追加となります。商工業振興緊急対策事業になりますが、当該事業につきましては令和 2 年度一般会計補正予算（第 1 号）で予算措置し、第一弾の経済対策として実施してきたところですが、感染症の影響が長期化し、地域経済の深刻な状況が続いていることから、今般第二弾の経済対策として実施するものであります。事業につきましては、第一弾と同様に、町が壮警町商工会に補助金を交付することを通じて商工会会員等の事業継続と経営安定を支援することとしております。その支援内容についてであります。新しい生活様式を踏まえた事業展開に対する支援として一律 10 万円を定額補助することとしております。またさらに、本年 4 月から 7 月までの売上げが前年に比べ 20%以上減少した町内の観光、飲食、宿泊等事業者については、前年売上げから減少した額の 10%に相当する額を最大 200 万円を上限に補助することとして、総額で 5,140 万円を計上するものであります。簡易水道事業特別会計繰出金になりますが、令和 2 年度壮警町一般会計補正予算（第 3 号）で予算措置した町内観光事業者等に係る水道使用料の免除をさらに令和 2 年 8 月請求分から令和 3 年 3 月請求分まで延長することとして 292 万円を計上するものであります。集落排水事業特別会計繰出金になりますが、令和 2 年度壮警町一般会計補正予算（第 3 号）で予算措置した町内観光事業者等に係る下水道使用料や浄化槽使用料の免除をさらに令和 2 年 8 月請求分から令和 3 年 3 月請求分まで延長することとして、合計 36 万円を計上するものであります。移住定住環境整備事業になりますが、現在空き家となっている町有住宅を修繕、整備し、まちづくりに寄与する人材や地域産業の担い手となる人材等の移住希望者を受け入れる住環境を確保することとして、町有住宅 3 戸の修繕料 810 万 7,000 円を計上するものであります。公共施設管理維持体制持続化事業になりますが、指定管理施設の再開に当たり、感染拡大防止対策の充実と円滑な運営管理体制の維持を図るため、指定管理者 2 事業者に対して 1 施設当たり 10 万円の感染拡大防止対策費と町の指示に伴う休業に対する協力支援金として合計 410 万円を計上するものであります。子育て世帯応援商品券配付事業になりますが、子育て世帯の生活を応援するため、国から支給されている子育て世帯への臨時特別給付金に加え、町独自に平成 14 年 4 月 2 日生まれから令和 3 年 3 月 31 日生まれまでの子供 1 人当たり 1 万円の壮警町商工会商品券を配付し、子供の健やかな成長を支援することとして、子育て世帯応援商品券 320 万円のほか、当該商品券の配付に要する消耗品費や商品券配付事業事務委託料等の事務的経費 22 万 5,000 円の合計 342 万 5,000 円を計上するものであります。新生児特別定額給付事業になりますが、国の特別定額給付金の基準日後の令和 2 年 4 月 28 日生まれから令和 3 年 3 月 31 日生まれまでの子供を対象に

1人当たり10万円を町独自に支給し、子供の健やかな成長と子育て世帯への生活を支援することとして新生児特別定額給付金100万円とその振込手数料5,000円の合計10万5,000円を計上するものであります。再生可能エネルギー安定供給事業になりますが、幸内地区では地熱を利用した施設園芸に取り組んでいます。冬期間の停電発生時においても温泉水を安定的に供給し、持続的な農業生産や農業経営を確保するため、弁景55年泉源に非常用発電機を設置する工事費として2,240万円を計上するものであります。高収益作物生産土づくり推進事業になりますが、持続的な農業生産の基本となる土づくりを支援し、実需者や消費者のニーズに即した高収益作物の導入や農作物の生産性の向上を図るため、堆肥購入補助金85万円を計上するものであります。有害鳥獣対策事業になりますが、人と人の接触機会をより低減した被害防止対策を推進するため、殺処分用炭酸ガス購入費6万5,000円、害獣駆除委託料93万円、箱わな30基分の購入費45万円、監視カメラ3台分の購入費15万円、電気柵購入補助金210万円の合計369万5,000円を計上するものであります。

26ページになります。地域経済活性化事業になりますが、感染症の影響が長期化し、観光や飲食、宿泊業等の地域経済に深刻な状況が続いていることから、地域経済の活性化と消費低迷を改善するため、プレミアム付商品券事業補助金とビジット昭和南山キャンペーン事業補助金を計上するものであります。初めに、プレミアム付商品券事業補助金についてであります。この事業につきましては、壮警町商工会を事業実施主体として、町から補助金を交付して実施することとしております。その事業内容についてであります。町民向けとして1セット5,000円で1万円分利用できるプレミアムつき商品券を1,300セット販売することとしており、この商品券の用途としては町内の飲食、観光、商店用で5,000円分と農産物用で5,000円分の利用をできることとしています。また、西胆振地域の住民向けとしては1セット5,000円で8,000円分利用できるプレミアムつき商品券を2,000セット販売することとしており、この商品券の用途としては町内の飲食、観光、商店用で4,000円分と農産物用で4,000円分の利用をできることとしています。なお、プレミアム付商品券事業補助金全体では事務的経費と合わせて1,500万円を計上するものであります。

次に、ビジット昭和南山キャンペーン事業補助金についてであります。この事業につきましては、特に深刻な影響を受けている昭和南山地区の活性化に向けて、そうべつ観光協会を事業実施主体として、町から補助金を交付して実施することとしています。その事業内容についてであります。昭和南山駐車場利用者に対し地域限定で飲食や土産購入等に利用できるプレミアムつき商品券を配付することによって駐車場の利用料を実質無料化し、誘客と消費の喚起を促進するもので、事務的経費と合わせて1,100万円を計上するものであります。なお、地域経済活性化事業の円滑な実施に資するため、商品券や普及啓発資材の印刷製本費200万円と広告料200万円を計上しており、地域経済活性化事業全体では3,000万円を計上するものであります。

観光地誘客環境整備事業になりますが、感染症の影響が長期化する中、新しい生活様式

を踏まえた地域経済の活性化対策の推進と並行して新たな旅行スタイルに対応する観光拠点の事故防止対策を推進するため、昭和新山地区の入り口付近において分かりやすく、多言語化した道路サインや路面標示、衝突緩衝材の整備に要する修繕料 200 万円を計上するものであります。緊急雇用対策事業になりますが、感染症の影響が長期化する中、離職や休職等を余儀なくされている住民等を町が一時的に雇用することで就労機会を確保し、生活の安定化を図るとともに、住民に対するきめ細やかな行政サービスを提供するため、会計年度任用職員 5 名の報酬 230 万 9,000 円と通勤手当 18 万 9,000 円を計上するものであります。なお、令和 2 年度壮瞥町一般会計補正予算（第 5 号）で専決処分した移住定住環境整備事業について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の充実に伴う財源区分の整理を行っています。

新型コロナウイルス感染症教育対策費で 532 万 8,000 円の追加となります。G I G A スクール構想加速化事業になりますが、壮瞥高校のタブレット保管庫購入費として 66 万円を計上するものであります。また、財源の整理になりますが、令和 2 年度壮瞥町一般会計補正予算（第 3 号）で予算措置した小中学校児童生徒用のタブレット端末購入費 742 万 5,000 円について 3 分の 2 を国庫支出金、残りの 3 分の 1 を一般財源として計上しておりましたが、一般財源分に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当することとして財源区分の整理を行っております。社会教育活動推進事業になりますが、教育活動を展開する上で人との接触機会をできる限り低減した新しい生活様式の推進を図るため、座席数の多い車両を購入することとして、自動車購入費 452 万円をはじめ自動車損害保険料 8 万 6,000 円及び自動車重量税 6 万 2,000 円を計上するものであります。

23 ページになります。歳入では、国庫支出金、国庫負担金、民生費負担金で 90 万円の追加となります。自立支援医療給付費に係る国庫負担金であります。

国庫補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で 1 億 5,102 万 1,000 円の追加となります。新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援、家賃支援を含む事業継続や雇用維持等への対応、新しい生活様式を踏まえた地域経済の活性化等への対応を通じた地方創生を図る目的の臨時交付金であります。

道支出金、道負担金、民生費負担金で 45 万円の追加となります。自立支援医療給付費に係る道負担金であります。

繰入金、基金繰入金、財政調整基金繰入金では 2,385 万 6,000 円の追加となります。

給与費明細書につきましては、後ほどご照覧いただきたいと思います。

第 1 表、歳入歳出予算補正については、説明した内容の再掲でありますので、説明は省略します。

議案第 58 号 令和 2 年度壮瞥町簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について。

令和 2 年度壮瞥町簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）は、次に定めるところによる。

第1条、既定の歳入歳出予算の総額2億8,350万円に歳入歳出それぞれ150万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億8,500万円とする。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

事項別明細書、歳出から説明します。33ページになります。総務費、総務管理費、維持費で150万円の追加となります。避難施設における冬期間の衛生環境の改善等感染予防対策の充実を図るため、橋梁に添架している水道本管の凍結防止ヒーター制御盤を修繕するものであります。

公債費、公債費、元金で新型コロナウイルス感染症の経済対策に係る水道使用料の免除による財源区分の整理であります。

歳入では、使用料及び手数料、使用料、使用料で水道使用料現年分について292万円を減額するものであります。新型コロナウイルス感染症の経済対策として壮警町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）で予算措置した町内観光事業者等に係る水道使用料の免除をさらに令和2年8月請求分から令和3年3月請求分まで延長するものであります。

また、繰入金、他会計繰入金、一般会計繰入金で442万円の追加となります。新型コロナウイルス感染症の経済対策に係る水道施設の修繕料の追加及び水道使用料の免除によるものであります。

第1表、歳入歳出予算補正については、説明した内容の再掲でありますので、説明は省略します。

議案第59号 令和2年度壮警町集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について。

令和2年度壮警町集落排水事業特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入予算の金額は「第1表 歳入予算補正」による。

事項別明細書、歳入から説明します。38ページになります。使用料及び手数料、使用料、下水道使用料で11万円、浄化槽使用料で25万円を減額するものであります。令和2年度壮警町集落排水事業特別会計補正予算（第1号）で予算措置した町内観光事業者等に係る下水道使用料や浄化槽使用料の免除をさらに令和2年8月請求分から令和3年3月請求分まで延長するものであります。

また、繰入金、他会計繰入金、一般会計繰入金で36万円の追加となります。集落排水事業繰入金で11万円、管理型浄化槽事業繰入金で25万円の追加となります。

関連して、歳出では集落排水事業費、集落排水総務管理費、集落排水施設管理費及び管理型浄化槽事業費、管理型浄化槽総務管理費、管理型浄化槽施設管理費で町内観光事業者等に係る下水道使用料や浄化槽使用料の免除の延長に伴う財源区分の変更になります。

第1表、歳入予算補正については、説明した内容の再掲でありますので、説明は省略します。

以上が今臨時会に提出します議案の内容でございます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○議長（長内伸一君） これにて提案理由の説明を終結いたします。

日程第3のうち、議案第54号 専決処分承認を求めることについてを議題といたします。

質疑を受けます。全体について。

2番、松本勉君。

○2番（松本 勉君） 説明は、以前全員協議会の折にも聞いたことだと思いますけれども、再度確認という意味でお伺いしますが、全員協議会でしたか、新たな地域おこし協力隊の方の紹介もございましたけれども、新聞ではまたその後お一人本町に赴任されたということで3名の方が都合いらっしゃるのかと思いますけれども、いろんな諸事情で緊急整備が必要だったということは理解するのですけれども、4戸行ったということは、3人来るのですが、この折に乗じて整備をしておこうという趣旨だったのか。もうちょっと、確かに時期が迫っていたということで専決処分されているのですけれども、同じ時期の議案の中で後ほど町営住宅の改修も出てきますけれども、これは多分地方創生交付金の活用もされているのだと思いますけれども、その辺は時間的な余裕がなく緊急やむを得ずということの判断なのだろうかということの確認だったのですけれども、後に回して地方創生交付金を使うなんていうことの手段は取り得なかったという理解でよろしいのか。

ついでに、細かいですけれども、具体的にどのような、これも聞いた話かもしれませんが、内装、あるいは屋根、いろんなもの、多分老朽化も進んで、長い間空き家だということですから、いろんな改修をするのでしょうか、具体例があればお伺いしたいと思うのですけれども。

○議長（長内伸一君） 答弁、建設課長。

○建設課長（澤井智明君） ご答弁申し上げます。

町営住宅の修繕についてですけれども、今回専決で上げさせていただいた4件につきましては、地域おこし協力隊の採用というものもございますけれども、今年度地域おこし協力隊の採用をした場合の居住先としましては、第1としては採用が決定した時点で公営住宅の空き家状況に応じて公募してもらおうかなというふうに考えておりました。それと民間の賃貸住宅の空きについても併せて調査することとしておりましたけれども、地域おこし協力隊の採用が5月19日に決定したということで、その時点でまだ、先ほども説明ございましたけれども、新型コロナウイルス感染症に伴う移動自粛の規制など、状況を見極めながら居住先に関する諸条件とかも調整してきたところでございます。居住先の調整としましては、採用決定後の最初になる公営住宅の公募の住戸の決定をするのが5月の末ということでしたけれども、そのときには入居できるような住宅がなかったということと、その時点で民間住宅も空きがなかったということでございました。それと併せてシェアハウスについても採用された方とお話をさせていただきまして、どうかという話もしまし

たけれども、入居には至らなかったということでございましたので、あとは長期間空き家になっている住宅を修繕するしかないのかなというところで、まず修繕することによって利用可能なかどうかというところで空き家を調査しまして、ある程度の修繕をすれば入居可能なかなという判断をいたしたところでもあります。そういう調査等を調整している間に協力隊の赴任が、最初3人採用したうちの2人が7月の1日に赴任されるということが決定されましたので、あと先ほど提案理由説明の中でもありましたけれども、農業労働者の住宅確保の相談というのも1件ございまして、それも併せて町営住宅を早急に修繕しなければいけないということでそういう方向性が決まりましたので、7月1日までに間に合わせるためには時間的余裕がなかったので、専決処分をさせていただいたということでございます。ということで、一応今回の地方創生交付金を活用するために遅らせることはできなかったのかという質問につきましては、そういう事情によって専決処分させて先行させてやらせていただいたということでございます。

今回の修繕のもう一つのご質問ですけれども、空き家のどのような修繕を行ったのかという事例があればということなのですけれども、基本的には内部の修繕でございまして、床、壁、天井が汚れていたり破損していたりと、そういうものと全体的な美装関係ということで仕上げ材を新しいものに更新するというのと、あとは設備的に長期間使っていなかったということもありますので、水道ですとか、トイレ周りですとか、お風呂ですとか、そういうところの点検をしながら悪いところがあれば修繕したというものでございます。基本的には内部の修繕を行ったということでございます。4戸ともそのような状況ですので、一応具体的な例としましては全部そういう感じの修繕を行ったということでございます。

以上でございます。

○議長（長内伸一君） 2番、松本勉君。

○2番（松本 勉君） 中身は確認いたしました。確認したかったことは、答弁もいただいたのですけれども、協議するいとまもなく行っていることは了解しますし、中身についても分かるのですけれども、確認したかったことは、繰り返しですけれども、いわゆるシェアハウスもあると、あるいは公営住宅もあると、そして民間の賃貸住宅もあるということの優先順位と申しますか、どういうことでいくのかなと。今時系列のお話があったのだけれども、それは個人の選択の自由もあるかもしれませんけれども、一応公営住宅、民間でやっている方の賃貸ですとか、そういったことも空き状況によっては入れない場合もあるわけですけれども、シェアハウスの利用も可能だったのだなということ、だけれども選択肢にならなかったというのは何か理由があるのか、あるいはいっぱいなのか。説明の中でありました新規農業者の移住の方についても何かそういう問合せがあったので、4戸の公営住宅の改修を行ったという話だったと思うのですけれども、その方もシェアハウスが優先順位が1番にならなかった理由はいっぱいだった以外に何かあったのかというようなことが少し気になったのですが、何か事情があればお伺いしたいと思うのですけれども。

○議長（長内伸一君） 答弁、建設課長。

○建設課長（澤井智明君） ご答弁申し上げます。

地域おこし協力隊の方の住宅の選択の自由といいますか、その辺の観点で一応先ほど言ったような順番で入居していただけたらなというところだったのですけれども、まず空き家がなかったということと、あとシェアハウスについてもご相談させていただいたのは聞いておりますけれども、シェアハウスなので、共同生活といいますか、そういう生活スタイルになってしまうというところが個人的には合わなかったというようなことはお話を聞いております。新たな農業者というか、そういう方が来られたときの住宅というのもそのような事情もございまして、普通に入居できる住宅のほうがいいという要望もありましたので、一応強い農業を今進めている中でそういう方も町内に住んでいただきたいということで、空いている住宅を有効に活用したいということで今回修繕してそこに住んでいただいたということでございます。

以上です。

○議長（長内伸一君） 副町長。

○副町長（黒崎嘉方君） すみません。ちょっとだけ補足させていただきます。

まず、財源の話もされていたと思うのですけれども、今回専決では一旦財政調整基金を使うようにしていますけれども、コロナの交付金については補正とか専決でやったものを使えるということになっていますので、今回財源充当させていただくと、まず専決でやったのも併せて財源充当させていただいて、それから新たにやる分も交付金で対応させていただくということがございますので、まずご理解をいただきたいなと思います。

それから、住宅の調整は個人の入居したいという意向が強いものがまず1つあります。ただ、今回建設課長のほうでは触れていなかったのですけれども、実はもう一件農業法人のほうで雇用がありまして、そちらのほうはシェアハウスに入っていただくように調整がついて、そういうもろもろの調整をした中でこういう選択になったということをご理解いただければなと思いますので、ちょっと補足させていただきます。

○議長（長内伸一君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） これにて質疑を終結いたします。

これより議案第54号を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第54号 専決処分の承認を求めることについては原案のとおり承認することに決定いたしました。

日程第3のうち、議案第55号 専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。

質疑を受けます。全体について。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結いたします。

これより議案第 55 号を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 55 号 専決処分の承認を求めることについては原案のとおり承認することに決定いたしました。

日程第 3 のうち、議案第 56 号 専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。

質疑を受けます。全体について。

2 番、松本勉君。

○2 番（松本 勉君） 1 つ確認だったのですが、これも説明は以前にあったのだろうと思いますけれども、忘れっぽいのでございまして、昭和新山南登山口近辺の農業用排水路の具体的な箇所というのが頭に描けないものですから、それと 7 月 8 日の大雨の後、確かに事故といいますか、事件というのか、いっばいで、オーバーフローというか、水が流れていかないという状況がそのとき起きたのだろうというふうに思いますが、聞いていますと土砂の流入と蓄積ですから、恐らく長年の歳月によってそれが形成されて事故が発生したというふうに理解できると思うのですが、それまでの調査と申しますか、地域住民から声が上がるかどうかは別としても担当課のほうで定期的な用排水路の確認などの行為は行っていないものなのかどうかということ、またそれを上回るような大きな土砂の流入だったのかどうか、それも含めてお伺いしたいと思うのですが。

○議長（長内伸一君） 答弁、産業振興課長。

○産業振興課長（木下 薫君） ご答弁いたします。

まず、場所なのですけれども、国道沿いから今ペット霊園がございまして、あのちょうど裏側にある水路になります。畑の中を通っている水路になりまして、こちらにしましては担当課でのパトロールというところですが、大雨等々降ったらその都度必要箇所、大体あふれる箇所というのは毎回同じようなところであふれている部分もありますので、そういった箇所を重点的にパトロールするのですが、こちらもその場所になっておまして、はっきり言えるのは前日から 80 ミリ近い雨が降ったと。集中的に短時間で 1 時間に 20 ミリぐらいの雨量を記録している時間帯もありましたというところで、それでそれが原因ではないかということなのですが、その前にパトロールしたのは春先になるのですけれども、5 月ぐらいに見回りしたときは水路は何ともなかったという確認はしております。ただ、定期的に回っているかということ、そういうことではなくて、必要に応じて

その都度点検しているというような状況です。

以上です。

○議長（長内伸一君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） これにて質疑を終結いたします。

これより議案第 56 号を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 56 号 専決処分承認を求めることについては原案のとおり承認することに決定いたしました。

日程第 3 のうち、議案第 57 号 令和 2 年度壮警町一般会計補正予算（第 8 号）についてを議題といたします。

質疑を受けます。最初に、事項別明細書、歳出について受けます。一般 2 ページ。

3 番、佐藤 恣君。

○3 番（佐藤 恣君） 今回の提案の新型コロナウイルス感染症の臨時交付金の補正内容について確認といたしますか、取組について確認したいと思います。

今回この交付金は、提案されておりますように衛生対策費、経済対策費、教育対策費の各分野で現在提案、審議されておりますけれども、最初に衛生対策費について伺いたいと思います。防災活動支援関係で指定避難所としての立香ふれあいセンターの屋根のふき替え、これは雨漏りがするだとか、そういう面で 750 万円の予算が計上されておりますし、またゆーあいの家だとか来夢人の家、久保内ふれあいセンター、農村環境センターのトイレの改修で和式から洋式への改修工事が取り組まれております。そこで、以下 4 点について伺いたいと思います。1 点目、立香ふれあいセンターの指定避難所として屋根の補修が今回計上されておりますけれども、当然そこを避難所として活用した場合には衣食住の中から出てくるトイレの問題です。トイレはどのような状況になっているのか。今回の改修の中には含まれておりませんが、立香ふれあいセンターのトイレは現在のままで利用が衛生的な観点から考えても継続していく考えがあるのかどうか。

2 番目、噴火災害時の長期にわたる避難所として久保内地区では主に中学校を利用してきましたけれども、皆さんご承知のように 2 年 3 月末で民間への払下げ、そして現在休校中の久保内小学校が大切な避難所として活用が期待されます。そこで、同じく衛生関係で小学校のトイレの現状と改修は必要性があるかないか。これは予算が載っておりませんが、その点について伺います。

3 点目、この小学校施設は休校中とはいえ、私の考えです、将来再開されることは難しいのではないかな、そのような立場で今後の壮警町の避難所の在り方について考えることが必要でないかな。今回災害発生時における避難所運営マニュアルの改正によって今避難

所に求められている避難所の内容だとか運営のための改善、これに取り組まなければならないと思いますけれども、小学校の施設の活用、防災計画の避難所としての位置づけをどのように考えているか、そして平常時からどのような改善に向けて設備の充実を考えているかについて伺います。

4点目、今回の補正で学校の衛生環境改善が一段と図られると思います。そこで、例えば小学校の多目的トイレの新設だとか、今までにない取組もされておりますけれども、町内全体を見た場合に小学校、中学校、高等学校の衛生関係の設備は今後改善するものがあるかどうか、現状と今後の見通しについて4点について伺いたいと思います。

○議長（長内伸一君） 暫時休憩いたします。

休憩 午前10時54分

再開 午前10時54分

○議長（長内伸一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁、総務課長。

○総務課長（庵 匡君） ご答弁申し上げます。

まず、全般にトイレのお話があって、学校を除いた公共施設のトイレの状況と今回の改修についての考え方なのですが、今回和式のを洋式、あるいは洋式にウォシュレットをつけてという、そういう改修をしますが、全ての公共施設をそうするというのではなくて、ある程度日常的な利用度、ですから今回改修したはいいけれども、例えば避難所として使うときは使うけれども、それ以外に今のところ使うめどがないだとか、あるいは老朽化の度合いだとか、将来的なことを考えて、その中から今回4つの施設を選んで改修をしているということでございます。

それで、ご質問の中の1点目、まず立香のふれあいセンターに関してですが、立香につきましては現在トイレが3つあって、そのうちの1つが和式、2つが洋式でウォシュレットはついておりません。今回そういった観点でいうと他の施設と同様に洋式化、あるいはウォシュレット化ということも対象として考えたことは考えたのですが、先ほど言った他の温泉を併設している施設だとか、そういった日常的に使われる施設を優先した関係から、立香については今回は除外しているということでございます。それと、避難所としての取扱いについては、今指定避難所としては従来から指定をしたままです。今後も避難所として指定したままになるだろうというふうに推測をしています。ただ、現状として避難所として指定はしているけれども、当然雨漏りのする体育館に避難をさせるわけにはいきませんので、それらは本来指定避難所としての活用ができるように今回は屋根改修をすると、そういった意味合いもでございます。

それから、久保内中学校の体育館は、確かに民間に売却しましたので、そこはもう今後は避難所としての活用というのとは考えておりません。久保内小学校につきましては、今後の再開云々というのとは私のほうからは何とも申し上げられませんが、当然残ってい

く施設というふうには認識をしております、それで今回避難所の見直しだとか運用計画をつくるに当たって教育委員会を通じて道教委さんのほうに再度確認をしていただいて、万一今例えば有珠山が噴火したときに久保内小学校というのは避難所として使えるのかということの確認をしたところ、それは町の判断ですということでご回答いただいておりますので、有事の際には、当然学校教育活動の支障にならない範囲でということには、そういう条件は当然つくのですけれども、避難所として活用していきたいというふうに考えております。

あと、トイレの状況につきましては、児童用ではなく一般の方が使うトイレについては状況を調べておまして、それも検討したのですが、一部和式があったり洋式があったりというトイレではあるのですけれども、先ほど申し上げたように、今回の改修工事については今現在の平時の利用状況の頻度を勘案して優先順位をつけたということでございますので、久保内小学校については今回は対象から除外をしたということでございます。

以上が手前3つへのご回答ということにさせていただきたいと思いますが、4点目につきましては教育委員会のほうからご回答いただくとお思います。

以上です。

○議長（長内伸一君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（河野 圭君） ご答弁申し上げます。

4点目のご質問で学校施設に関しての衛生設備の改善、それから現状と今後の見通しということでございます。ご質問の趣旨から、トイレの改修の件であろうと思っておりましたけれども、壮警小学校については20基あるうち洋式が14基ございます。今回の補正で多目的トイレも含めて全て洋式化されるということでございます。壮警中学校につきましては、全24基のうち半分、12基が和式となっており、12基が洋式となっております。壮警高校につきましては、全て洋式化となっております。今後の見通しの部分でございますが、壮警小学校については今回で全て洋式化になるということで整備をしていくと。壮警中学校につきましては、今後来年度以降計画的に洋式化を図っていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（長内伸一君） これより休憩といたします。再開は11時10分といたします。

休憩 午前11時00分

再開 午前11時10分

○議長（長内伸一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

3番、佐藤恣君。

○3番（佐藤 恣君） 先ほど各学校の様子お話しいただいたのですけれども、高等学校だけが設置数話されておりましたけれども、全て洋式になっているというお話でしたけれども、体育館側にあるトイレも洋式になっているのですか。そのことについて確認

したいと思います。

○議長（長内伸一君） 暫時休憩いたします。

休憩 午前11時10分

再開 午前11時11分

○議長（長内伸一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁、生涯学習課長。

○生涯学習課長（河野 圭君） ご答弁申し上げます。

今のご質問ですけれども、以前閉鎖されて、ないものと思っておりますけれども、再度確認しておきたいと思います。

以上でございます。

○議長（長内伸一君） 2番、松本勉君。

○2番（松本 勉君） 一般2ページで2つの箇所について質問いたします。

まずはテレビ難視対策費の説明ございましたテレビモニター購入費で消防壮警支署において5台モニターを設置して、町内の難視聴対策と申しますか、この監視を行っている、常時なのでしょうけれども。その1台が故障したので入れ替えるということで説明がございましたが、そもそも5か所で監視している町内の電波状況というのはどの辺の箇所のことを網羅しておっしゃっていらっしゃるのかということが1つでありまして、その監視の仕方というのはその地区で、例えば南久保内地区なら南久保内地区の画像がモニターに映るようになっていて、それが乱れてくると南久保内地区全域が多少電波状況が悪いという判断につながると、そんな単純なことなのかどうか、その確認が1つでした。

そして、もう一はコロナウイルス感染症対策に入っていますが、中身は仲洞爺野営場管理棟の整備工事に関わって、併せて修繕費等もございまして、衛生管理の面で。今回残念なことに諸事情で中止といいますか、利用者を受けないと。たまたま最近見たテレビでキャンプ場を営んでいるところの取材がございまして、非常に盛況していると。ただ、日頃いつもやっている営業のキャンプサイトスペースからは、いわゆる3密を避けるという意味で等間距離を取ってみたり、そういった様々な工夫をしているということアピール行為にして予約含めていっぱいということだったのです。翻って私どもの仲洞爺キャンプ場、いっぱい道内外からお越しいただくことはありがたいし、また全部が自然のパッケージみたいな、手つかずのというところも一つの売りだというふうにも理解するのですが、もともとテレビでやっていた盛況なところは整然と区画整理をしたようなキャンプサイト、うちのイメージとは随分違って、ではどちらを嗜好するかというのはまた別の問題だと思うのですが、このコロナ禍においては前述の区画整理されたほうは管理がしやすいというのは当然のことだと思うのですが、それで手をこまねいても仕方がないのかなというふうに思いまして、うちの施設状況を生かしつつも数の整理をした上で次に備えて自然を満喫してもらうような形のキャンプ場整理を今から考えて

おく必要があるのではないか、議長のお許しをいただいていませんけれども、そういったことが頭をよぎってございまして、簡便ということでございますが、仲洞爺野営場の管理棟の整備、これも古いもので、あの古い建物であってもお客さん来てくれたわけですが、それを改修する、それは建物の改修だけではありませんが、この際そういったソフト面のといたしますか、利用全体を考えたようなアイデア、検討、協議も観光協会独りに、指定管理者に振ってもなかなか湧いてこない、湧かないとは言いませんけれども、町全体でそういったことを考えてみるとか、あるいは地域の方の、旧管理していた仲洞爺の組合の方々ですとか、そういった知恵を絞って地域のPRを戦略的にできたらなということを感じたものですから、議長のお許しをいただいてこんな関連質問をしたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○議長（長内伸一君） 答弁、総務課長。

○総務課長（庵 匡君） ご答弁申し上げます。

まず、1点目のテレビモニターの関係でございますが、5台消防に設置をしているのは5地区ではなくて民放5社それぞれのテレビ放送が見れるようになっていると。高階山の中継局から当然電波が出ておりまして、それが各ご家庭へ行っているものがちゃんと行っているかどうかということも24時間体制で見れるのが消防ということだったので、この導入時に消防さんと町と民放5社で協定を結んで、そこにモニターを設置しているということでございます。だから、そのうちの1台が、テレビ放送が悪いわけではなくてモニターのほうが故障して見れないということなので、常時監視できるように取替えをするということが1点目の事業の趣旨でございます。

それから、2点目の仲洞爺のキャンプ場の今後のことでございますが、以前にどこかの段階で議会のほうにもご報告というか、ご説明をしたかと思っておりますが、今回閉鎖に至った理由は、先ほど松本議員からもご質問にあったとおり、自然をそのまま残しているがゆえに上限管理が難しいと。あと、予約のシステム自体も入れていないということで、自然の古くからあるそのスタイルを残したことで、そのよさを理由にお客さんも来る一方で今回のような事態には対応できないような形式になってしまっていたというところでございます。では、次年度以降どうするかということについては、当然町と、それから指定管理者のほうで再三というか、ここ数か月ずっと協議をしましてまいりました。考え方として上限管理を入れられるように、例えば出入口を1本にするだとか、あるいは予約のシステムを導入するだとか、そういったものが対策としてあるのですけれども、1つは予約のシステム自体は機械的なものですので、お金さえかければそう難しいものではないというふうに考えますが、問題はいろんな時間帯に、それぞれ夕方も夜も朝もいろんな人の出入りがある今の形態の中で出入口を1本に絞れるか、あるいは絞った場合の影響、当然中は決して広い状況ではないので、いろんな混乱があったり、それと従来から自然体売りしてきたところが景色が変わることによって逆にお客さんへの違和感を発生させないとか、そういうことを今もお分析をしているところです。本格的にやれば当然一定の費用もかかってきま

すので、このような交付金を活用してということも考えたのですが、いろんな不安要素もある中でいうと、いきなり断定的に多額のお金を入れてきっちりスタイルを決めるというよりは幾つかの形を試行しながらやっていくということが現実的なのかなというふうに観光協会とは話をしていたところです。もちろんまだ結論が出た話ではございませんので、今後も継続して次年度以降の対応を考えていきますし、必要に応じて都度議会のほうにも情報をご提供させていただきたいと思います。今のところ一言で言うと検討中というところでございます。

以上でございます。

○議長（長内伸一君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） 一般3ページ。

3番、佐藤恣君。

○3番（佐藤 恣君） 経済対策について伺います。

今回の補正で交付金の約90.7%くらいが経済対策に使用されております。そこで、今回新たに壮瞥町独自の取組もあって、商工業者だけでなく農業者に対しても、手厚いとまではいきませんが、そういう配慮をしている予算だと私は評価しております。そこで、例えば土づくりのために堆肥の購入価格の3分の1でしたか、補助しますと言っているのですけれども、この機会に例えば家庭菜園で使うような袋詰め、500円で今売っておりますけれども、家庭菜園で使うのは例えば100円引きにしますから、どうぞ使ってくださいというような、農業者だけでなく一般市民の皆さんにも還元のあるような方策は取れないのかどうか、それが1点目。

2点目です。壮瞥町はずっと生ごみ堆肥を生産しておりますけれども、お話を聞くと堆肥は作っているけれども販売していないのだと。作ったのは高校の実習用に活用しているのですよということがよく今まで答弁で繰り返されておりますけれども、この生ごみ収集には相当な金額がかかっておりますし、どの程度生ごみ堆肥が生産されたかという数的なものをあまり聞いたことがありません。ですから、高校で使っていますよといってもどの程度使っているのかについて私はこの機会に知りたいなと。

そして、もう一つ、各町内の社会教育に関係するような団体だとか、自治会だとか、団体等が環境美化活動として花を植えております。けれども、食べるものでないから、生ごみで作った堆肥をそういう団体等に無償で提供して環境美化のほうに役立ててくださいというような配慮があってもいいのではないかと思いますけれども、この点について伺いたいと思います。

それから、商工観光、地域農業振興を目指して、例えば昭和新山のキャンペーンとして駐車場で駐車した方には500円から2,000円までの商品券をお渡しするだとか、また町民の皆さんに対してはプレミアム付商品券事業として1世帯1セット購入していただくというような計画のようですけれども、この商品券の1枚当たりの金額をどのように設定して

いるのか、この点について最初に伺っておきたいと思います。

○議長（長内伸一君） 3番、佐藤議員、後段の質問の部分については4ページに関わる部分として考えてよろしいですか。

〔発言する者あり〕

○議長（長内伸一君） それでは、4ページにまたがりませんが、まとめてということで答弁をいただきたいと思います。

答弁、産業振興課長。

○産業振興課長（木下 薫君） ご答弁申し上げます。

まず、今回の高収益作物生産土づくり推進事業の中で計画している堆肥購入補助という部分に関しまして、まず1点目として一般町民向けにはそういった補助を考えられないのかという部分かと思うのですが、この事業に関しましては土づくりをまず第一に考えておりました、土づくりのためには秋起こしと言われる堆肥を施肥して、来春に向けて土を寝かせておくといいますが、起こして土の地力を高めているというような部分を主たる目的とした事業でございまして、一般町民の方に、家庭菜園とか向けにそういった補助というのはまた違った形にはなるのかなと思います。例えばですが、これ壮警町の堆肥センターの堆肥だけに限定した事業とはなっておりません、もし仮に壮警町の堆肥センターの堆肥も含めてそういったところに向けるとなると、今度は生産能力ですとか供給能力のバランスの問題が出てきまして、なかなかそれも難しいのではないかというふうに考えております。

次に、生ごみ堆肥に関するご質問ですが、すみません、今手元には直近のデータがないのですが、みんなのゆうきという商品名で作っております、これが平成29年の生産実績で40立方メートルを生産しております。販売のほうは、先ほど言われていましたように、販売はしていないというような状況になっております。

次に、環境美化活動への堆肥の利用は考えられないのかという部分ですが、この辺に関しましては可能な範囲で対応していければなというふうに考えております。まだ全然中身に関しても具体的にはお答えをこの場ではできないのですが、検討していきたいというふうに思います。

以上で終わります。

○議長（長内伸一君） 答弁、商工観光課長。

○商工観光課長（三松靖志君） ご答弁申し上げます。

経済対策事業に関してのプレミアム商品券の券面額についての考え方についてのご質問でありました。地域経済活性化事業で商品券を取扱う事業がビジット昭和新山キャンペーン事業とプレミアム付商品券事業の2つございまして、基本的には500円刻みのセットにいたしまして配付してまいりたいと、このように考えているところでございます。

以上です。

○議長（長内伸一君） 3番、佐藤君。

○3番（佐藤 恣君） 500円刻みということは500円、1,000円、1,500円、2,000円とかという、そういう考え方なのか。それを確認したいと思います。なぜこんなことを聞かかかという、町民1,300世帯、1,300セットを予算化しておりますけれども、その中には高齢世帯だとか独居世帯、そういう方も、もしも5,000円で1万円の買物ができるならということで買物するのではないかと思うのです。利用するのではないかと思うのですけれども、私たち高齢者の収入というと年金だけです。国民年金だけの方のことを考えると、本当に月5万円前後しか収入がない中でももしもそれを買って1,000円だとか2,000円の券をもらって買物したときに、おつりは出ないものですから、日常生活の食料品などが主な買物でないかな、そういう高齢者の方に券があるから観光地へ行って、そこでなんていうことは到底考えられるようなことではないかと思うのです、町民の皆さんにとっては。そういう面で使いやすい500円にすべきでないかなという考えを持っているのですけれども。

それと、今500円刻みというようなお話がありましたけれども、例えば乗用車を止めた場合に1,000円でしたよね。そうすると1,000円を500円2枚を渡すことによって乗用車に乗ってきた人2人が1枚ずつ使う。そうしますと500円から出た分は現金で払いますので、やはり購買力につながっていくのではないかな。また、私は観光業者の方に考えてほしいことはあるのですけれども、例えばバスで来た場合2,000円の商品券を渡しますということ、多分それは添乗員が受け取るのではないかと思うのです。そうした場合、私が添乗員であればその2,000円、500円4枚もらったら、昭和新山へ行ったらこういう制度があって500円券4枚頂けるので、皆さんにプレゼントしたいと思います。そのようなことも本当は観光業者というか、バス会社のほうに考えてほしいなと思うのですけれども、そうやることによって購買力は高まるのではないかと思うのです。2,000円の券を渡して、これで買物してくださいというのは地域の購買力にはつながっていかないのではないかな、できるだけ多くの方に、利用した方にそれが行き渡ることによって私は地域の購買力の向上につながると思うものですから、500円の券で渡すべきでないか、これはプレミアムについても同じことが言えると私は思いますけれども、このことについての考えを伺いたいと思います。

○議長（長内伸一君） 答弁、商工観光課長。

○商工観光課長（三松靖志君） ご答弁申し上げます。

私の説明の仕方が分かりづらかったのかもしれませんが、500円刻みと申し上げたのは、1枚500円の券面額、これを例えば昭和新山に来た場合、駐車された場合、議員のお考えと同様500円の駐車代に対して500円券を2枚渡して1,000円、そこがプレミアムということでございます。同様に、マイクロバスについても500円券を2枚、大型バスについては500円券を4枚お渡しすると。全部統一するというのは、管理上もいろんな券種が交ざると間違いのもとになる。それから、額面を小さくし過ぎてしまうと、それを集計する手間と誤りのもとになるということで制度設計上500円が妥当であろうという考えでございまして、それを何枚ずつ渡すかという部分については議員ご指摘のお考えのとおりと、こ

のようにご理解いただければと思います。

以上です。

○議長（長内伸一君） 2番、松本勉君。

○2番（松本 勉君） これは以前も確認したことかもしれませんが、公式な会議の場なので、もう一度確認しますが、進めていくことは非常に賛成でありますし、地域の要望に応える形になっている。それから、町長も説明の中でご自身がおっしゃっていたように、新たな消費というか、購買行動の拡大というのか、新しい開発なのか、マーケティングの一環でもあるかもしれませんが、地域の住民、町民も含めた人たちが昭和新山という地区で購買行動をすることにつながる、新たなです、そんな動向も期待しながら行うということも理解します。一緒に議論されているようでございますけれども、町内向けの、町外もありますが、プレミアム商品券というのは以前にもやったことありますし、理解するのですけれども、時期的なものも多少時間は余裕があるだろうと思うのですが、昭和新山の、ビジット昭和新山だったかな、キャンペーン、これはやっぱり急ぐのだろうなということで、印刷にしても、それから財団の方の一連の作業、それから確認とか、その辺を至急やって、いつから開始、あるいはそのことについてのPRをしていくのかということの、いつなのですかという年限の確認だったのですが。

○議長（長内伸一君） 答弁、商工観光課長。

○商工観光課長（三松靖志君） ご答弁申し上げます。

まず、ビジット昭和山キャンペーンの開始時期でございますが、今ご質問の中にございました商品券の印刷、これが一番のネックになりまして、偽造防止、連番管理、そういったことに大変時間を割きまして、印刷会社とも議決後速やかに作業に移るということで事前の打診は料金照会も含めましてやっていく中で、やはり1か月程度これは時間を要するであろうということで、可能な限り速やかにということで考えておりますが、早くても9月上旬ということになろうかというふうに考えております。

以上です。

○議長（長内伸一君） 7番、毛利爾君。

○7番（毛利 爾君） 商品券のことでお尋ねしたいのですが、町内の飲食、観光、商店用で5,000円、農産物用で5,000円となっているのですが、確認したいのは農産物で使えるというのはどこら辺で使えるのかなと。例えば商店に行って一般の食料品を買いました、野菜も買いましたとなったときに農産物と一般食料と使い分けるのか、そこら辺のところを聞きたかったのですが。

○議長（長内伸一君） 答弁、産業振興課長。

○産業振興課長（木下 薫君） ご答弁申し上げます。

今回のプレミアム商品券、この事業は商工用の券と農産物用の券と2種類をワンセットで5,000円ずつというところなのですが、事前に取り扱店といいますか、参加してくれるお店ですとか事業所さんを募集するのですが、商工関係のお店なり事業所と、あと直売所、

果物、あと道の駅ですとか、そういった農産物を専門とした事業所という形で分ける方向で今考えております。ただ、中には両方、例えば道の駅みたいに両方、農協みたいに両方売っているようなところもあるので、その辺については両方使えるお店ですよというところで広報していければなというふうに考えております。

以上です。

○議長（長内伸一君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） なければ4ページ。ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） なければ、次に歳入について、一般1ページ。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） 次に、給与費明細書について。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） 次に、第1表、歳入歳出予算補正について。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） 次に、条文及び補正予算全体について。

3番、佐藤恣君。

○3番（佐藤 恣君） 全般といたしますか、壮瞥町ではたしか4月8日から8月3日まで21回の新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催して、その都度ホームページで公表しております。そこで、この予算をこれから執行するに当たり、またなかなかコロナ対策が進まなくて感染者が増大している中で、この対策本部でもいろいろ話し合われていると思うのです。そこで、最後に町長から町民の皆さんに対して町はこんな考えを持って取り進めているということ、これはホームページに書いてあるのだけれども、読む人はほとんどいないと思うのです。ですから、こういう機会を利用して町のコロナ対策に対する取組の意気込みと、また町民の皆さんにはこんなことに注意して日常生活を送っていただきたいというメッセージをぜひこの機会にお聞きしたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○議長（長内伸一君） 答弁、町長。

○町長（田鍋敏也君） コロナ対策に臨む理事者の姿勢ということのご質問だったと思いますけれども、ご答弁申し上げたいと思いますが、町民の皆様には新型コロナウイルス感染症の長期化で大変な日々をお過ごしのことと存じます。

町では、これまで議員の皆様のご理解を賜りまして、国、北海道の支援策とともに町独自の緊急対策を実施してきたところであります。5月26日に緊急事態宣言が解除され、6月18日には国の方針を受け、道の感染症対策本部から外出の自粛や移動制限等の段階的な緩和の方針が示されました。町では、これらの方針を受け、事業者が新北海道スタイル推進など観光再開に向けた準備を行い、来訪者が着実に回復することを期待していたとこ

ろですが、実態は昭和新山地区を中心に大変厳しい状況が続いている地域が町内にはあるということでありまして、そうしたことを踏まえながら今回第二弾となる緊急対策を上程をさせていただいたところでもあります。今回は、商工業の振興ですとか地域経済活性化事業に加えまして、農業の分野においても活性化や長年の懸案、課題解決に向けた事業に取り組むとともに、子供たちの健やかな成長を願い、子育て世帯への支援を盛り込むなど、また町民の皆さん全員を対象とした商品券についても計画をし、これから取り組むこととしており、幅広い分野で地域全体の持続化、活性化に資する事業を検討、立案してきたところでもあります。感染症対策については、長く厳しい道のりではありますが、これからも国や北海道の支援策を活用し、町独自の施策を展開し、町民の皆様の安全で安心な暮らしを守り、地域経済の再生に向け取り組んでいきたいと、このように考えているところでもあります。

今回の事態は、これまで経験したことのない危機と捉え、提案させていただいている事業について関係機関とこれからも団体と連携、協力を得まして力強く推進し、この難局を町民の皆様と心をつなげて乗り越えていきたいと、このような所存でこれからも町政運営を行っていきたいと思っておりますので、議員の皆様、町民の皆様のご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（長内伸一君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） これにて質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） 討論なしと認めます。

これにて討論を終結いたします。

これより議案第 57 号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 57 号 令和 2 年度壮警町一般会計補正予算（第 8 号）については原案のとおり可決されました。

日程第 3 のうち、議案第 58 号 令和 2 年度壮警町簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）についてを議題といたします。

質疑を受けます。全体について。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） これにて質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） 討論なしと認めます。

これにて討論を終結いたします。

これより議案第 58 号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 58 号 令和 2 年度壮警町簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）については原案のとおり可決されました。

日程第 3 のうち、議案第 59 号 令和 2 年度壮警町集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）についてを議題といたします。

質疑を受けます。全体について。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） これにて質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） 討論なしと認めます。

これにて討論を終結いたします。

これより議案第 59 号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（長内伸一君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 59 号 令和 2 年度壮警町集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）については原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長（長内伸一君） これにて本議会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

よって、令和 2 年壮警町議会第 4 回臨時会を閉会いたします。

（午前 11 時 47 分）

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長

署名議員

署名議員